

おじゃまします！

移動博物館・出前授業 ～その3～

県立郷土館では、学校や各種団体を対象に、移動博物館や出前授業を行っています。
この連載では、移動博物館などの郷土館の活動について、実際の使用例などを交えてご紹介します。

今回は、昨年度実施した中から、遠足先での「自然観察会」を紹介します。

申し込みは八戸市の小学校からで、1年生生活科「いきものとなかよし」の授業をかね、遠足先で草花や虫の観察をしたり、野草を使った遊びをさせたいとのことでした。また、「この活動を通して、子どもたちの生き物に対する興味を高めたい」というねらいでした。

遠足先を下見したところ、池や展望台のほか、手入れの行き届いた広い芝生があり、遠足には最適の場所でしたが、よく整備されている分、自然のままの姿を観察することが難しく思われました。

しかし、よく探してみると、池の周りには産卵にきたトンボや水草が見られ、また芝生には、オオバコやエノコログサ、チドメグサなどが見られました。

チドメグサを見つけたとき、担当の中で活動内容がひらめきました。「これは～という草で、特徴は～です」という解説をしてもおそらく子どもたちはすぐに忘れてしまうでしょう。そこで、子どもたち自身に草花の特徴を見つけさせ、自分たちで名前をつけさせることにしました。

当日は、トンボの行動を観察しながら池の周りを散策し、草花を使った遊びを行いました。活動の導入として、担当がチドメグサをほっぺや額にはって見せると、子どもたちも喜んでチドメグサを探し始め、顔や腕にたくさんはりはじめました。

頃合いを見て集合をかけ、「みんながはっているこの草は、むかし絆創膏みたいに使われていたんだよ。だからこの草はチドメグサっていう名前なんだ。」「さあ、みんなもいろんな草の特徴を見つけて自分で名前をつけてみよう！」と言うと、子どもたちは大喜びであちこちへ散らばっていき、形や色・手触りなどになぞらえた名前をつけています。

そして次々に担当や先生たちに見つけた特徴と名前を教えていました。



【チドメグサ】

移動博物館・出前授業は、学習のねらい達成のお手伝いとして、学芸員が県内どこへでも無料で実物資料を持って伺い、解説や体験活動を行っています。

ねらいに応じて、展開や資料・体験内容を工夫して授業を行いますので、安心してご利用ください。

申込み・ご相談は、県立郷土館学芸課までお気軽に。

○ 問合せ・申込み先

青森県立郷土館 学芸課

TEL. 017-777-1585 FAX. 017-777-1588

ホームページアドレス <http://www.pref.aomori.lg.jp/kyodokan/>